

事業概要

- ・ 認知症予防&早期発見研究&機器開発
(脳ぽち・カラーパネル機器)
- ・ 健康維持・脳卒中系統リハビリ・
脳トレプログラムに特化した介護モデル事業所
多店舗展開
- ・ 認知力効果測定
- ・ IOT・AI・データ解析・事業連携



創業当初から「愛を持って厳しく」をテーマに利用者様に関わらせて頂いている。3時間という短い中で脳卒中系統の方には理学療法士や看護師による個別的な徒手療法と四肢の機能訓練を中心としたプログラム、認知症状の方や軽度認知障害の症状がある方には個別的な認知機能の維持向上を高めるプログラム、閉じこりやうつ病などの精神障害がある方にはコミュニケーションを取った関係性構築ができるプログラムやリラクゼーションを中心としたプログラムと、一人一人に合わせた脳と体のオーダーメイドプログラムを作成し自社製品のトレーニングシステムを導入、管理、評価を構築している。



小集団の機能訓練と個別的な理学療法士による徒手療法

理学療法士としてADL、QOL向上のための疼痛緩和、運動機能の向上を行う中で
 1.運動麻痺の方の希望は諦めず少しでも達成できるように取り組む
 2.関節疾患の方は疼痛緩和や筋力向上を図り疼痛を緩和し動作能力の向上を図る
 個別的な徒手療法では一番長く時間を過ごすので利用者さんとのコミュニケーションを楽しむ



サークル日帰り旅行(認知症予防)



認知予防トレーニング研究開発

脳ぽちはゲーム感覚で認知トレーニングを行うことができる一方、評価を実施することができるソフトです。利用者様が認知トレーニングを実施している間、自動的に様々な評価データをコンピュータに蓄積しています。その評価とトレーナーの実施状況の観察により様々な視点で評価を行うことができます。評価項目は各実施項目の正解率、反応速度、実施状況の評価に大別することができます。

広告 企画・制作 / 読売新聞社ビジネス局

株式会社meiVR
VRを利用した医療機器を視覚、仮想空間上の指った位置に手を伸ばす動作を繰り返すことで、姿勢バランスや認知処理能力の回復・向上に向けたリハビリに役立ちます。

株式会社ソフトアップ
タッチパネル式画面のやり取りで、手や指先の訓練だけでなく、頭脳の機能活性化が期待できる前頭葉の機能を強化するための脳トレーニングを行います。

■主催：大阪府 ■協力：株式会社meiVR、株式会社オトバンク、株式会社ソフトアップJ、日本早期認知症学会

体験ブース 認知症予防の先端技術を体験！

重森教授の講演
定期的な運動が認知症発症を抑える効果について、運動によって脳の血流を活性化させ、脳の血管を強くし、神経細胞を増やすことができます。重森先生は運動、特に有酸素運動の効果を強調して「プラスメン10」という考え方を来場者に提案しました。目を車を進ませ、バスを自転車で、毎日10分間歩くと余剰な負荷をかけることで脳を刺激するの十分役立ち、これが「脳を強くするの」に有効だと考えます。

さらにはオトバンクの赤井夫妻に伝授する形で、簡単なトレーニング方法が紹介されました。ただ歩くだけでなく、タオル、あるいはペットボトルなどをギョッと握りながら歩くことにより、脳の刺激に役立ちます。そして前の手は後ろ、後ろの手は負ける状態で

重森先生も共同研究に加わっており、「認知症予防に向けて、オトバンクを開発するから運動すると効果的です」と絶賛。

早期認知症の診断・予防治療の研究と実践の向上を目的として、知識の普及と相互理解、社会の発展を目指している学会。学術大会を中心に啓蒙活動を行っています。

当会の理事長・金春美夫先生と副理事長・奥山照子さんが、認知症などに関する相談に親身に応じています。

大阪府「10歳若返り」プロジェクトとは、2025年大阪・関西万博に向けて大阪全体が一体となって、府民の皆さんが「いきいきと暮らす」ことを目指す取り組みです。病気や身体の不調など日常生活に支障があっても、長く活躍できることが目標。企業、団体、市町村、大学などで、さまざまな取り組みがスタートしています。

大阪府「10歳若返り」プロジェクトの詳細は、ホームページをご覧ください。

大阪府 大阪府政策企画部企画室連携課

大阪府「10歳若返り」プロジェクト

大阪府「10歳若返り」プロジェクトとは、2025年大阪・関西万博に向けて大阪全体が一体となって、府民の皆さんが「いきいきと暮らす」ことを目指す取り組みです。病気や身体の不調など日常生活に支障があっても、長く活躍できることが目標。企業、団体、市町村、大学などで、さまざまな取り組みがスタートしています。

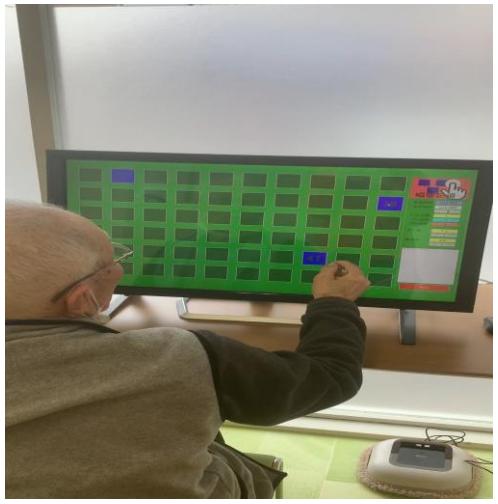
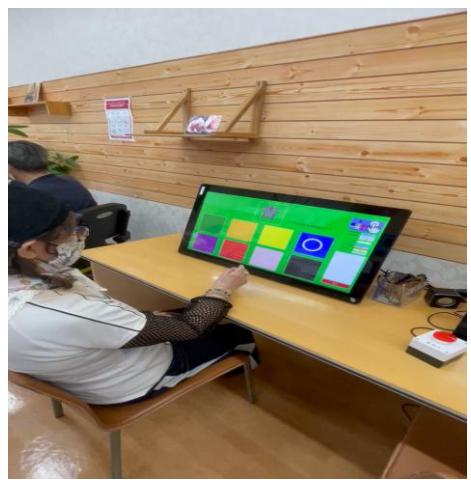
大阪府「10歳若返り」プロジェクトの詳細は、ホームページをご覧ください。

大阪府 大阪府政策企画部企画室連携課

大阪府「10歳若返り」プロジェクト
運動で脳を活性化！
「認知症」を予防しよう

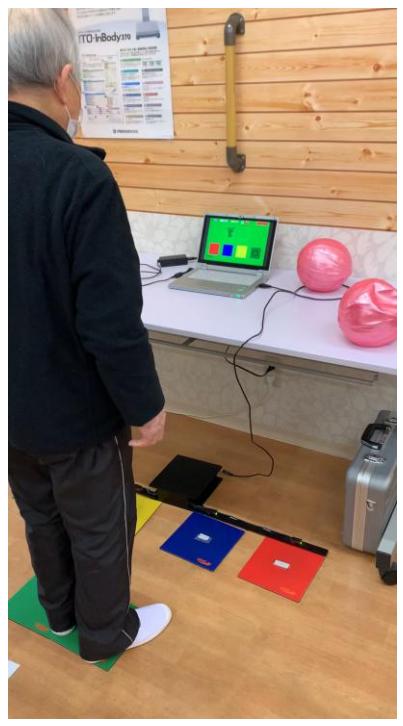
(脳ぽち)

神経伝達トレーニングや認知症リハビリに、IT技術を応用したタッチパネル式トレーニング媒体装置にて短期記憶障害予防と早期発見の取り組みを実施体の機能維持と同時に脳機能の活性化への取り組み



ICT大型タッチパネルでゲーム感覚でできる(認知症予防トレーニング)

ICT転倒予防トレーニング装置



オンラインスーパー開発研究



大型画面32型以上のタッチパネル式の注文で画面も1画面で実現し画面遷移は1階層のみとし操作が簡単な仕組みにしています。

弊社が大切にしているQOLの向上とは「生活の質」、「生きがい」や「満足度」という意味だけではなく、人が人間らしく満足したなかで生活し、自分らしい生活を送ることが出来るようにパソコンがそのお手伝いをするという概念です。

コロナ渦により買い物に行ってもらえない
外出が思うようにできない

病気の疾患によっては購入してはいけないものがある

オンライン何？
デジタル社会？
わかりにくい言葉

スーパーの買い物が難しい
※キャッシュレス
※有料のレジ袋
※セルフレジ

デジタルをうまく活用できていない

商品を見る、比べる
吟味
することで、前頭葉の刺激に

IT/ICT技術の構築で実現したエンブレネットスーパーは、重たい物を買うことが困難になってきた利用者の方に大きな反響があった。特に人気なのは送迎者で持って帰れる事。よく売れるのはお米、トイレットペーパーなど日常的に欠かせないが一人で運ぶのが困難なものであった。送迎ドライバーやスタッフの協力で成し遂げることが出来たこの取り組みは、利用者様だけでなく家族様にも喜ばれた。またスタッフも社内で購入することができるため好評である。デジタル社会に取り残されている高齢者にとってエンブレネットスーパーは身近な存在になり「若返りの実現」ができていくように思う。また、地元農家の協力のもと直売買いも行った。地産地消に繋がりがつつ、地域の方との連携が今後はもっとできるように期待している。さらにシステムの中に個別の既往歴をデータベースに入れることで食べることができない食品リストを買い物選択画面から非表示にする。認知症の方の買い物重複を避けるなど情報を駆使しどんな状態であっても安心して買い物ができる環境を整えることが在宅生活の中の一番の自立支援につながると考えている。



実証実験

美味しい
を楽しもう

北本ファームもぎたて
フルーツ！

無人販売

お野菜・果物
地元の美味しいが勢ぞろい

場所
エントレ
リハ

開催
12/11～
9:00-16:00

株式会社高瀬 エントレリハ堺・杉本町
当日は現金持参にて参加ください！！

- 無人販売システム
- ・折り畳み机 2 個
 - ・折り畳みかご 4 個



